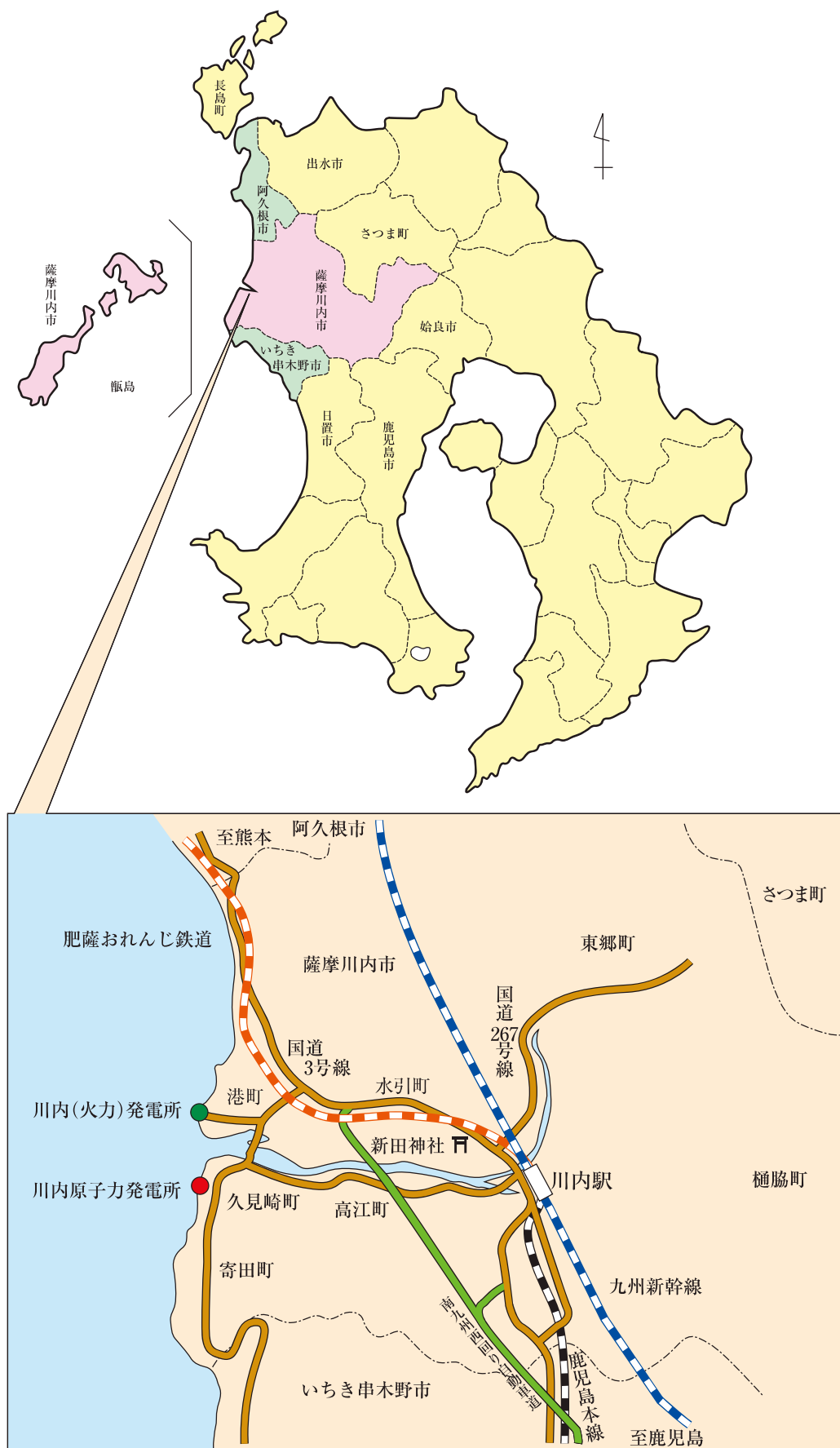


Ⅲ 参考資料

Ⅲ－１ 川内原子力発電所位置図



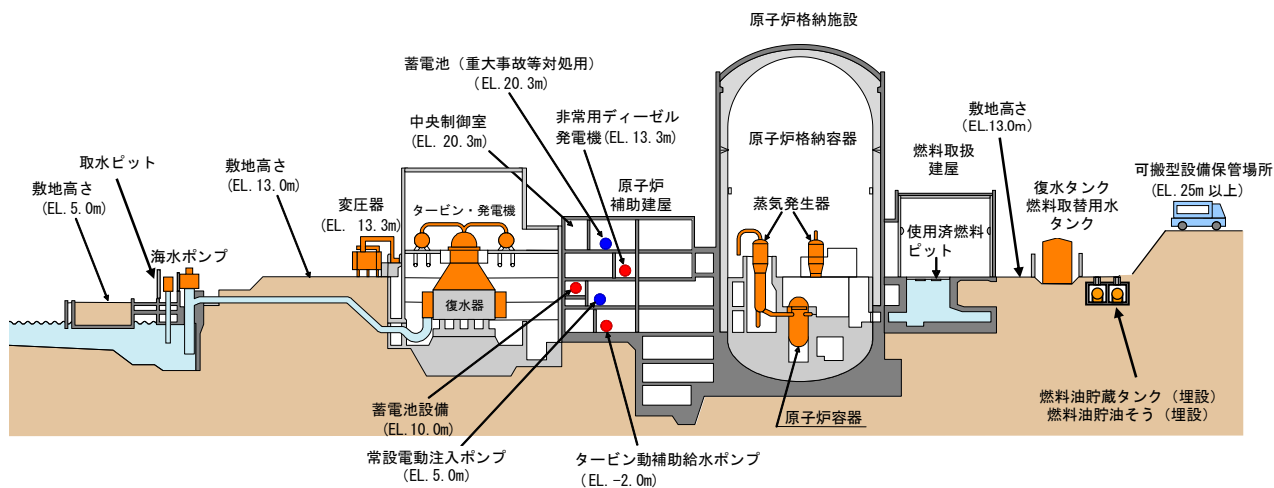
<発電所全体配置図>



※県道43号線は敷地外

<発電所断面図>

【イメージ】



Ⅲ－２ 川内原子力発電所の概要

川内原子力発電所は、1号機が昭和59年に全国で27番目、2号機が昭和60年に全国で32番目の商業用原子炉として営業運転を開始している。

項 目 \ ユニット		1 号 機	2 号 機
所 在 地		薩摩川内市久見崎町字片平山1765番地3	
敷 地 面 積		約145万m ² （埋立面積約10万m ² を含む）	
電 気 出 力		89万kW	89万kW
原 子 炉	型 式	加圧水型軽水炉（PWR）	
	熱 出 力	266万kW	266万kW
燃 料	種 別	低濃縮（約4.1%，約4.8％）二酸化ウラン	
	装 荷 量	約74トン （燃料集合体157体）	約74トン （燃料集合体157体）
冷 却 海 水 量		約64m ³ /s	約64m ³ /s
主 要 経 緯	川内市議会・誘致決議	昭和39年12月15日	—
	建 設 計 画 発 表	昭和45年 4月21日	昭和52年 3月29日
	電源開発調整審議会	昭和51年 3月12日 （第68回）	昭和53年 7月14日 （第75回）
	原 子 炉 設 置 許 可	昭和52年12月17日	昭和55年12月22日
	着工（基礎掘削開始）	昭和54年 1月24日	昭和56年 5月 7日
	安 全 協 定 調 印	昭和57年 6月12日	
	初 臨 界	昭和58年 8月25日	昭和60年 3月18日
	初 送 電	昭和58年 9月16日	昭和60年 4月 5日
	営 業 運 転 開 始	昭和59年 7月 4日	昭和60年11月28日
建 設 費		約2,800億円	約2,300億円

Ⅲ－３ 原子力防災訓練当日の知事コメント（ぶらさがり取材）

本日の原子力防災訓練は、関係市町、国の関係機関、また住民の方々にも参加していただき、無事終了することができました。

また、190の関係団体、およそ4,400人が参加するという昨年の規模を上回る過去最大規模の訓練を行うことができました。

今回の訓練には、前回の訓練で出された反省点等を踏まえ、熊本県津奈木町への広域避難訓練をはじめ、保育園での園児の保護者への引き渡し訓練など、6項目を新たに追加しました。

今回の訓練における反省点、御意見や専門委員会からの御意見等も踏まえながら、今後、防災計画の見直し、そして次回の防災訓練にも生かしていきたいと思っております。

いずれにしろ住民、県民の安心・安全、防災対策の強化に今後とも全力で取り組んでまいりたいと思っております。